



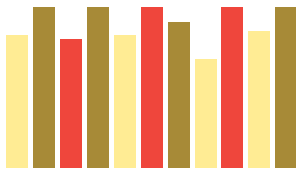
# RUNNER

Vol.31



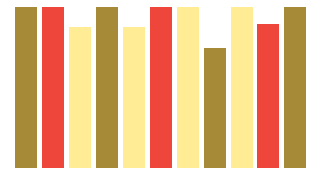
## 目次

活動の現場	… 2
水辺にすむ鳥の羽根と翼標本	… 4
～On your side～環境のために。断捨離～～～!!	… 6
野生動物痕跡調査団 ミッション③ 森に潜む小さなハンターを探れ!	… 8
足環プロジェクト	…11
インフォメーション	…12



# 活動の現場

このコーナーでは普及啓発活動やイベントなどに参加したボランティアがその体験をもとにレポートしています。



## 第27回 公園緑化まつりの報告

5月13日、伊勢原市総合運動公園にて「第27回 公園緑化まつり」が開催され、私たち野生動物救護の会も自然環境保全センターのブースを間借りする形で参加しました。愛鳥週間中であることにちなみ、野鳥のヒナの誤認保護防止を呼びかける「ヒナを拾わないで」のチラシを、来場された市民の方々に配布しました。

緑化祭りということもあり、自然環境に興味を持っている人たちが多く来場されていたようで、保全センターのブースにもたくさんの方が立ち寄って、展示されていた野生動物の剥製や写真パネルなどを熱心に見学する人がたくさんいらっしゃいました。そういった方たちにチラシや救護の会のパンフレットをお渡しすると、殆どの方が快く受け取ってくれ、私たちも楽しく活動することが出来ました。チラシの裏側に記載されている野鳥の親子当てクイズに興味を持ってくれる人も多く、「孫が二人いるので、もう一枚ください」とか、「お友達にもあげたいので2枚ください」などの要望もありました。

今後、その場でクイズに回答してもらい、正解者には景品を渡すなどの工夫をしても良いかもしれないと思いました。来場者も大変多く賑やかなイベでしたので、可能であれば来年以降は救護の会として単独で参加できればと思いました。



## 第11回 野生動物救護の会定期総会の報告

5月20日定期総会が、厚木市の社会福祉協議会の会議室で開催されました。出席者と委任状で、過半数を超え議事として、事業報告・決算報告・会計監査報告・定款改正・事業予定・予算案など、みなさんの承認を得て可決する事ができました。今回は、出席者から多岐にわたり質問が多く、会の運営に興味のある方が多いことがうかがわれました。

総会後は、各調査チームからの報告会。

- ・痕跡チーム 最初は、センサーカメラで撮られた動画。シカ・ウサギ・タヌキ・イノシシ・アナグマ・アオバト・テンなど野生動物の自然の姿が見られ、痕跡チームでの活動が紹介されました。
- ・巣箱チーム 大・中・小と3種類の巣箱の利用状況の報告。ムササビや小鳥の巣箱の意味など、興味深い報告がつづき、こちらのセンサーカメラでは、巣箱を破壊するサル動画など、野生の世界を垣間見ることができました。
- ・衝突チーム 秦野市立図書館衝突調査に、バードリサーチさんの支援金によりセンサーカメラの設置状況の報告など。
- ・「小さな救護・大きな命」～産業能率大学生制作 NPO 紹介動画 市民映像祭グランプリ受賞作 紹介

とても内容の多い総会となったと思います。総会終了後は本厚木駅近くで、懇親会。おいしいビールを楽しみました。今回、残念ながら参加できなかったみなさま、来年はぜひ参加してみてください。事務局一同お待ちしております。





## 平成30年度 野生動物救護ボランティア講習会の報告

6月2日、3日に野生動物救護ボランティア講習会が、自然環境保全センターにて開催されました。今年は47名の参加者が、講義や体験研修を通して、野生動物との向き合い方や、関わり方などを学ばれました。みなさん、先生方の講義や先輩ボランティアの話に耳を傾け、実習にも積極的に参加されていました。

各講義を受け持った先生方、保全センター職員、野生動物救護の会、野生動物救護ボランティアと大勢のスタッフ協力のもと、無事に終了する事ができました。みなさま、2日間お疲れさまでした。

講習会を受講された方々はこれから自主研修が始まります。様々な理由で傷つく野生動物たちをお世話する中で、いろいろなことを感じてもらえたらと思います。



## 第8回 夏休み体験教室 野生動物を学ぶ!の報告

台風の為、7月28日から8月11日へ急遽変更となりましたが、子供12名（保護者12名）と多くの方に参加して頂きました。午前中は、体験教室初の試みで、羽根標本作製を行いました。今回はツバメの標本ですが、まずは参考の為、大きいサイズの野生復帰できないトビに登場してもらい、トビや羽について説明。本物のトビに、“わぁ！”と盛り上がり、積極的に触っていました。そして作業開始です。今回の標本はツバメのイラストの上に、右翼と左翼の初列、次列、三列風切羽と、尾羽を一枚、一枚貼り付けていきます。初めの右翼は慣れない作業になかなか上手く貼れず、苦戦する子もいましたが、それでも、“自分でやりたい！”とみんな、頑張って作業を続けていました。左翼になると、慣れてきてスピードも上がり、スムーズに行っていました。尾羽も貼り付け、各部の名称のシールなどを貼ってフレームに入れて出来上がりです。同じツバメですが、個体差などでそれぞれに色や大きさに違いがあり、子供達は他のお友達の作品と見比べていました。今回の標本は翼の形になっていて子ども達にもわかりやすく、出来上がった満足感もあったのではないかと思います。次に鳥や動物たちの好きな写真や自分で描いた絵で缶バッジを作成、気に入った様子で、すぐに洋服に着けていました。

昼食後、痕跡チームの動画を見ながら、“映っている動物達がどんな気持ちかな？”という質問に、“お腹がすいたなあ、早く家に帰りたいなあ、誰かいないかなあ？”など元気よく答えが返ってきました。傷病舎の見学、傷病鳥獣のお話では、3班に分かれて、鳥の名前やセンターに来た理由などを、暑く蚊も多い中、保護者の方々も一緒に聞きながらまわりました。ふれあい体験として、餌の説明、さし餌の見学、鳥カフェやトビ小屋へ餌運びの体験、そしてササゴイ、チョウゲンボウ、カワウに協力してもらい、実際に触ってもらいました。餌の鶏頭を見た時にはとても反響がありましたが、みんな積極的に体験してくれました。最後に野生動物の保護原因をパワーポイントで説明、質問にも元気に答えてくれ、傷つく動物たちを少なくする為に、私たちにどんなことができるかを考えてみよう、と締めくくられました。とてもリラックスした雰囲気、積極的に、活発に声も上がり、一人で参加されたお子さんもすっかり仲良くなって良い夏休みの一日になったのではないかと思います。

保護者もご参加頂いたことで、家に帰ってもこの体験で学んだことがご家族の中で話題になると良いなと思いました。

今回の羽根標本作成には事前の準備が必要の為、羽根標本チームをはじめ、たくさんの方にご協力を頂きました。ありがとうございました。また、今後も普及啓発の一環として行っていきたいと思いますので、次回は皆さんもぜひ、一緒に参加してみませんか。



## 「水辺にすむ鳥の羽根と翼標本」展示を行いました

遠藤 順一

- ◆ 羽根標本班は、4月から6月の3ヶ月間にわたり「水辺にすむ鳥の羽根と翼標本」の展示を行いました。展示会場となった神奈川県自然環境保全センター本館 2F ブナの森ギャラリーには、多くの人たちが鑑賞に来てくださいました。
- ◆ 今回の展示は「江戸の人々も見ていた水鳥たち」をテーマにしました。それは去年の台風によって陸に吹き飛ばされて保護されたコシジロウミツバメ (*Oceanodroma leucorhoa*) の標本を作るために調べていて、江戸時代に彼らを描いた花鳥画を見つけたのがきっかけでした。



出典：東京国立博物館研究情報アーカイブズ



◆コシジロウミツバメはミズナギドリ目ウミツバメ科に属する海鳥で、繁殖期以外では陸に上がることはなく海洋で生活し、海面すれすれを飛翔して小魚や甲殻類などを捕食しています。日本では北海道の大黒島が繁殖地として有名で、春から夏に多くの個体が飛来してコロニーを作り、岩の割れ目や地面に掘った横穴で営巣します。彼らは、秋になると北海道沿岸から赤道付近まで南下する“渡り”をされると考えられていますが、運悪く台風につかまる個体もいるようです。神奈川県で保護されることは珍しい海鳥であり、センターに持ち込まれることも殆ど無いのですが、残念なことに落鳥してしまいました。



写真：坂本堅五

◆寛政5年（1793年 第11代将軍徳川家斉が治めていた時代）に描かれたコシジロウミツバメも恐らく同じような原因で陸に飛ばされて捕獲されたのでしょう。そしてわざわざ花鳥画を描いた当時の人たちにとっても珍しい鳥だったのだと思います。

◆私は、200年以上昔の江戸時代の人たちと現代の私たちが同じ種類の鳥を見ていたことに驚き、感動しました。そして今から200年後の未来の人たちにも、この鳥を見て感動する機会があることを願います。NPO 法人 野生動物救護の会の活動が、未来の人たちに野生動物と出会える幸せをもたらすものとなるように、会員みんなでがんばりましょう。

◆さて羽根標本班は、来年の展示に向けて猛禽類の標本作製を行っています。標本作製に興味のある方、人と猛禽類の関係や猛禽類の生態に関する情報をお持ちの方は是非ご協力ください。よろしく願いいたします。



～ On your side ～



## 環境のために。断捨離～～～～!!

ボランティア歴 16 年目の伊熊さんがボランティア活動をしなが  
ら日々思うことを文章にしてみました。

今年の夏は本当に暑かった…と、今回のランナーが出る頃には涼しくなっているといいのだがまだ今はとにかく暑い。

そんな中環境に対して今実行している事をお話したい。で、暑いのが好きな御仁方には申し訳ないが食べ物はすぐ傷む、虫＝ハエ、蚊、ゴキブリを始めとした害虫以外の何物でもない奴らは出るし洗濯物は増える、身体は汗でベタベタ不愉快、エアコンを入れるので電気代は跳ね上がる、車の燃費は悪くなる、疲れるわイライラするわ紫外線で肌は荒れるわ髪は傷むわ…一体夏のどこが良いんじゃ！と、夏に対する悪口雑言はいくらでも出て来る中、クーラーを入れず扇風機を回し氷枕を抱えて頑張っているのは地球に優しく財布に優しくと思うからである。

特に先月の連日の猛暑、カラスや雀たちも飛びながら口を開けていた。“そうかぁ、体温の高い君たちでさえ暑いんだね (;\_;)”

そんな彼等を見ると自分も頑張らねばと思い、今年も来客などの必要時以外はクーラーをかけずに頑張って来た。

ただ、自分が手伝っているレストランとオーセンティックバーがあり料理を頼まれるのだが、それを作る時はエアコンのスイッチを入れる。ここまで暑いと調理中に肉や魚介類が傷み始めるからである。“頼むから、電気代出すから猛暑の室内で作らないでくれ”と言われた。

も～～～～～～～夏に対し憎悪さえ感じる。

そしてもう1つ、環境に優しいと考えて断捨離を始めた。歳は50代半ば、身体があっちこっちが悲鳴を上げ始めたため自分の身の回りの物をそろそろ少しずつ減らそうと思う様になった。死ぬ方に近くなっている歳だと思うからだ。欲しい物を我慢出来ずに買って増えては捨てる…そういった行為は完全にやめる！と、決めたのである。



そうする事は環境にとって決してマイナスにはならない。

父が他界し認知症の母が施設に入ったあと実家を整理していたら、まあ~~~~  
~~~~出るわ出るわ、書き出すときりがないのでやめるが こんなのもらって来なければいいのに！と思う物がどれだけあったか。

でもちょっとだけ挙げると銀行さんからもらったタオル、旅館のアメニティグッズ、何かの町内会での記念品、旅先での景品などなど…それらを処分しながら、そして今自分が高齢者の有料老人ホームやデイサービスの仕事をしつつ、前述した様に身边をさっぱりすっきりさせる、それこそ環境にも財布にも優しい、そういう結論に達したためである。

自分の年齢と向き合ってみて欲しい物が今後本当に必要かどうか、莫大な、無駄に捨てられた沢山のまだ使える物たちに思いを巡らせてはどうだろう。

今も室内は32℃を指している。だがベランダの日陰に置いた、氷を浮かべた冷たい

水とお米をついばみに暑さのあまり口を開けながらも可愛い声でチュンチュンとさえずりながら寄ってくる雀たちを見ると、クツソ〜！雀や動物たちだって暑いんだ！私もクーラーは極力入れないぞ~~~~！と、気合いを入れて塩ナメクジよろしく家事をしているといった具合である。掃除機をかけながら飽きて捨てるという物を少なく、買う物はもっと少なく…などと独語を言いながら思う。

1人1人が出来る事は沢山あり、それは自分のためのみならずいつまでも美しい地球をこれからもずっと守っていかねばならないと。自分1人の力ですぐにどう変わる訳ではないけれど私は死ぬまでそれを貫いて生きて行きたいと思う。またそれに賛同して下さる方が1人でもいれば何かのきっかけになりはすまいか。今年の猛暑の中、自分のこれからの生き方の方向付けが見付かった事だけは暑さに感謝したい。

全ては ~ On your side ~ 環境のために。断捨離~~~~！！



# <野生動物痕跡調査団>

## ミッションその③

# 森に潜む小さなハンターを探れ!!

皆さんは野生動物たちが普段どんな場所でどんな生活をしているかご存知でしょうか？NPO 法人野生動物救護の会の野生動物痕跡調査では神奈川県立自然環境保全センター内にある野外施設に生息する野生動物の種類や生態を解明しようと活動しています。

こんにちは、調査員の小林です！今年の夏は全国各地で記録的な猛暑となり、9月に入りやっと残暑が和らいできましたね…。痕跡調査団は暑さにも、突然の雨にも、ヒルにも？負けず動物たちの調査をしていました。

この夏、皆さんはどこへ遊びに行きましたか？ 私は森の中を流れる沢に遊びに行きました♪ 透き通った冷たい水と新緑の木陰の中で過ごす時間は暑さも忘れさせてくれて……というのも本当なのですが、実はそんな水辺を好むある動物の痕跡を探すための調査で向かいました！！

さて今回はどんな動物たちに出会えるのでしょうか♪

2018年8月22日、朝から晴天の真夏日！万全のヒル対策をして野外施設に向かいました！この時期の山の中にはヒルだけでなく、ダニやハチなど多くの危険な虫が活発に活動しています。とても暑いですが、皆さんも怪我や虫などの危険から身を守るために適切な格好で自然散策をしてください♪

コクワガタ

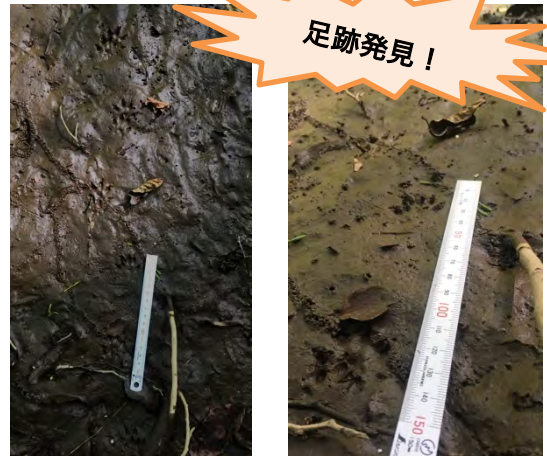


公開エリアには動物たちだけでなく、様々な昆虫も生息しています。調査中、夏ならではのこんな光景も見ることができました。散策路に横たわっていた朽ち木にコクワガタのメスが産卵の準備をしていました。

また公開エリアにある湿地のいたるところで、動物たちの足跡の痕跡を発見することができます。動物たちもやはり涼しい水辺を好んで歩いているのでしょうか…？

その中に今回お目当ての動物の足跡を発見しました！みなさんどこに足跡があるかわかりますか？拡大してみてもみましょう！

足跡発見！







みなさんは発見できましたか？縦2.5cm 横3cm  
とても小さな動物の足跡のようですね。  
5本の指と爪が特徴的な足跡です。

右の4本指が特徴的な野外施設の代表タヌキ  
の足跡と比較してみてください。  
足跡の大きさの違いから今回調査している動物  
はタヌキよりもずっと小さそうです。さて、  
この足跡の正体は一体だれなのでしょう？



またまたまた痕跡調査団の秘密兵器センサーカメラを使って  
この足跡の動物が一体何なのかを確かめてみましょう！  
今回カメラを設置する場所は水辺にはサワガニなどの水棲生物が、陸  
地にはネズミなどが多く生息している沢です。こういった場所には多  
くの動物たちが現れます。  
果たして映ってくれるのでしょうか？

実際のカメラ設置場所



なにやら小さくて可愛らしい動物が現れましたよ！  
これが今回のハンターなのでしょう？

イタチ



そう！これが森のハンター「イタチ」です！  
食肉目イタチ科イタチ属に分類される動物で、  
特にニホンイタチはオスに比べ  
メスが極端に小柄であることが知られています。  
(イタチの雌は約16~27cm、雄は約27~37cm)  
穏やかな沢などの水辺を好み、  
泳ぎも上手な動物です。

こんなに可愛らしくて小柄なイタチのどこがハンターなのでしょう？

### なんとイタチ！

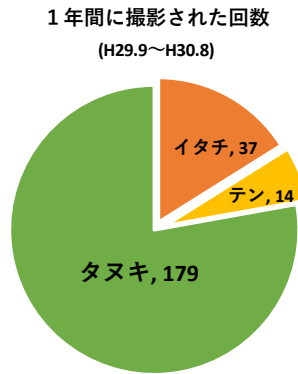
見た目とは裏腹にネズミなどの小型の齧歯類や鳥類  
だけでなく、自分よりも体の大きな鳥類やウサギなども  
単独で捕食してしまう、まさしく森のハンターなのです！！  
カメラ設置場所付近の石の上にあった糞に注目してみると  
サワガニなどの足や小さな骨が混じっていました！



カメラを設置してそれがどんな動物なのかを知るだけでなく、足跡や糞などの痕跡からより深くその  
動物の生態を知ることができます。

河原や沢などの水辺に行った際はぜひ糞や食痕、足跡などの痕跡を探してみてください♪

自然環境保全センターの野外施設では神奈川県で確認されているほとんどの動物種が生息していることがわかっています。しかし中でも今回取り上げた『イタチ』、同じイタチ科のハンター『テン』(RUNNER29参照)はカメラにもあまり映らず、痕跡も少ないとても珍しい動物です。過去1年間のイタチ、テンのデータをまとめてみました！

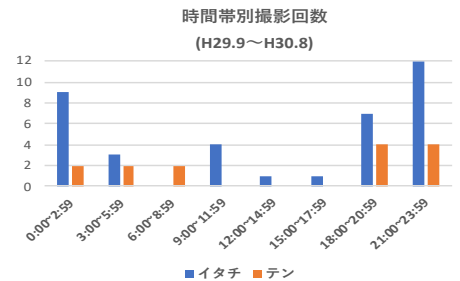


野外施設に設置したセンサーカメラで多く確認されるタヌキと比較してみるとイタチ、テンの確認回数はやはりとても少ないです。

イタチの確認回数は7月まで10回未満でしたが8月に入り確認回数が大幅に増加しました。この理由としてはカメラ設置場所を変更したことや、ペアで撮影されることが増えたことから活動自体が活発になっていることなどが予想されます。

逆にテンは6月以降確認されていません。しかし足跡や糞の痕跡から年間を通して野外施設に生息していることは確かです。

また、時間帯別に撮影回数を見てみるとテンは夜中にしか活動していないのに対し、イタチは昼間にも活動していることがわかります。ですがどちらも夕方以降から朝方にかけて活発に活動していることがこのグラフからわかりますね！



ここでお知らせです！今回のミッションの主役イタチの貴重なハンティングシーンや潜りながらエサを探す姿など8月から9月にかけて撮影された撮れたてホヤホヤの動画を見ながらその動物についてや、野外での痕跡調査のあれこれをみなさんに知っていただく講習会を開催します！

第4回 野生動物痕跡調査チーム講習会

のぞいてみよう！！

## 身近な里山における“野生動物”たちの生活

入場無料  
日時\*2018年10月7日(日)  
13:30~15:00  
場所\*神奈川県自然環境保全センター 本館 レクチャールーム

身近な“野生動物”と聞いて  
みなさんはどんな動物を想像しますか？  
普段なかなか見ることのできない  
野生動物たちの生活を覗いてみませんか？

- センサーカメラから学ぶ  
身近な野生動物たちの生態
- 野生のムササビに会いに行く  
in 大庭山
- 痕跡調査ってなに？  
調査のアレコレ教えます！

当日参加OKですが  
事前に申し込みしてください方には  
ささやかなプレゼントを用意しております。  
ぜひお申し込みの上ご参加くださいませ。

<参加申し込み>  
野生動物救護の会事務局  
wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp  
講習会参加希望 お名前、をご記入の上  
メールを送信してください。  
参加お待ちしております。

特定非営利活動法人 野生動物救護の会  
事務局：〒259-1306 神奈川県茅野市戸川1086番地の4  
TEL. 0463-75-1830 http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp

痕跡調査チームでは新たに神奈川県南足柄市にある大雄山にてムササビ観察を始めました。巨木から滑空する野生のムササビは大迫力です。

<ムササビ観察参加者の声>

ムササビの野生における活動を間近で観察できるとても貴重な時間でした！また、ムササビの鳴き声が想像してたものとかけ離れていて衝撃を受けました！

A大 獣医学生 Sさん

そんなムササビのお話や、観察参加者も衝撃を受けたムササビの鳴き声も講習会にて紹介します。

ぜひご参加ください！！

白黒写真で動物や足跡の様子がわかりにくいと思います。野生動物救護の会ホームページでは見やすいカラー写真で掲載されています。

ぜひそちらでもご覧ください！ 次回もお楽しみに！



# 足環Project!!

## 足環プロジェクトとは

足環を付けた放鳥個体が野外で発見もしくは再捕獲等されることでその個体の生存年数、移動範囲・距離などを知ることができます。詳しくは「RUNNER」vol. 16を御覧下さい。

## 2017年10月～足環を付けて放された鳥たち

| 足環番号 | 種類      | 放鳥月     | 放鳥場所       |
|------|---------|---------|------------|
| M0   | チョウゲンボウ | 2018年3月 | 相模原市三段の滝付近 |
| M2   | トビ      | 2018年2月 | 平塚市久領堤     |
| M3   | オオコノハズク | 2018年3月 | 小田原市       |
| M4   | チョウゲンボウ | 2018年6月 | 横須賀市       |
| J9   | トビ      | 2018年7月 | 相模原市       |
| K3   | トビ      | 2018年8月 | 小田原市       |



M4 チョウゲンボウ



K3 トビ

(写真提供：神奈川県自然環境保全センター)

左足に赤い足環をつけた野鳥を見かけたら、下記まで連絡して下さい。

NPO 法人 野生動物救護の会

TEL 0463-75-1830 e-mail : [wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp](mailto:wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp)

または

神奈川県自然環境保全センター 自然保護課

TEL 046-248-6682

鳥の詳しい情報はこちらに載せています。

ブログ URL : <http://blog.goo.ne.jp/yaseidobutsu-kyugo>



# インフォメーション

## イベント

### ◆動物フェスティバルよこすか 2018

▽日時 9月30日(日) ▽場所:三笠公園(最寄り駅:京浜急行横須賀中央駅 徒歩15分)  
☆当会のブース以外にも、犬の訓練の実演や犬・猫の譲渡会、ポニー乗馬や搾乳体験など様々な催しが行われます。

### ◆第39回 秦野市市民の日

▽日時 11月3日(土・祝)  
▽場所:秦野市文化会館周辺(カルチャーパーク)  
☆市民手作りのお祭りです。様々な団体のテントが並び賑わいます。

救護の会はそれぞれのイベントに出展し、普及啓発活動やグッズの販売を行います。ボランティアスタッフも募集中!事務局までメール又は電話でご連絡ください。

### ◆動物フェスティバル神奈川 2018 in ふじさわ

▽日時 11月4日(日) ▽場所:藤沢市民会館  
☆動物を愛護する気風を高め、適正な飼養について理解と関心を深める為に開催されるイベントです。

## 修了式・研修会・講習会

### ◆野生動物救護ボランティア講習会 修了式

▽日時:9月30日(日) ▽場所:自然環境保全センター  
☆自然環境保全センターで今年度のボランティア研修を終えた皆さんの修了式です。修了式の後には「短期・長期飼養ボランティアについて」の研修会も行われます。

### ◆第4回野生動物痕跡調査チーム講習会

▽日時:10月7日(日)13:30~15:00 ▽場所:自然環境保全センター本館レクチャールーム  
☆「のぞいてみよう!!身近な里山における“野生動物”たちの生活」と題して8月から9月にかけて撮影された最新の動画を見ながらその動物についてや、野外での痕跡調査のあれこれを皆さんに知っていただく講習会です。事前参加申込みは事務局まで。当日参加もOKです!

## 衝突調査

### ◆秦野市立図書館衝突調査

▽日時 毎月最終金曜日 →今後の調査日は9月28日、10月26日、11月30日  
▽場所 秦野市立図書館  
☆野生動物救護の会「バードストライク研究会」では窓ガラスへの野鳥の衝突調査と一緒に行ってくれる方を随時募集しています。興味のある方は事務局までご連絡を!

## “救護の会 ブログ” 更新中!

### ◆野生動物救護の会の活動の様子を楽しくご紹介!

日常のボランティア活動や、猛禽類の訓練風景(M project)、各種イベントのお知らせや報告などなど、随時更新しています。救護の会 HP トップページの「救護の会ブログ始めました!」のバナーをクリックしてご覧下さい♪  
アドレスはコチラ→ <http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp/>



\* 詳細は当会ホームページをご覧ください \*

### ☆☆会員へのお誘い☆☆

当会は、設立趣旨にご賛同頂きました皆様方の会費によって運営されております。

★一般会員:年会費 2,000円

★学生会員:年会費 1,000円

私たちの活動を支えて下さる賛助会員も同時に募集しています

★賛助会員:年会費 法人一口 5,000円/個人一口 3,000円 一口以上

ゆうちょ銀行振替口座 : 00270-0-47040

【振込先】 名義 : 特定非営利活動法人 野生動物救護の会

発行月:2018年9月 発行:特定非営利活動法人 野生動物救護の会 電話:0463-75-1830  
〒259-1306 神奈川県秦野市戸川1086番地の4 ホームページ:<http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp/>  
編集者 表紙:秋保優佳(渡辺みずほ)/活動の現場:(平沼亜矢子)/水辺にすむ鳥の羽根と翼標本:  
遠藤順一(森紀美子)/~on your side~環境のために。断捨離~~~~!!:伊熊智子(平沼亜矢子)  
/野生動物痕跡調査団ミッション③森に潜む小さなハンターを探れ!:小林夏子/  
足環プロジェクト:渡辺優子(渡辺みずほ)/インフォメーション:神崎さつき